

叶えた夢

ゼンギン・エミネ・ゼイネップ (トルコ・アンカラ大学)

私は、トルコのアンカラ大学から来た交換留学生ゼンギン・ゼイネップです。日本に来てから、3ヶ月が経ち、後学期も終わりました。その3ヶ月はあっという間に経ちました。

日本で過ごしたこの1学期は、私の今までの人生において一番成長した時期でした。トルコで大学に入ってから、日本語の能力を上達させたいと思い、そのためにも留学をしたいと長い間考えるようになりました。嬉しいことに辛い努力が実り、交換留学生としてお茶の水女子大学に留学することが決まりました。しかし2020年はコロナの影響で大変な時でした。最初、コロナの影響で日本に行けるかどうかわからなかったのですが、心配していましたが、1ヶ月遅く日本に行くことができました。

日本に来た後、2週間は隔離期間のため、大学の大塚施設に泊まりました。その後、大山寮に引っ越しました。移動した後、サポーターである優さんのおかげで、必要な手続きなど、何でも簡単にできるようになりました。本当に感謝しています。

先生方、指導教員の方や大切な友人のおかげで、学生生活や日常生活にすぐに慣れることができました。先生方皆様に心から感謝していますが、特に萩原先生とマツダ先生には特別な感謝の気持ちでいっぱいです。授業のことだけではなく、授業以外にも色々優しくサポートして頂きまして、本当にありがとうございました。

他の大学と比べると、お茶の水女子大学は少し厳しく感じて、困ったこともありました。これまでの留学の過程の中で気づいたことは、学校が大変忙しく課題などが多かった時は諦めようと思うほど辛い時期もありましたが、一生懸命頑張る努力することで、日本語を以前と比べて上達させることができたということです。また、コロナの影響で、大方すべての授業はオンラインでしたが、対面の授業にも参加して、先生方と直接会えました。それは自分にとってうれしいことでした。

来日して、今までのことを振り返ってみると、つらいことやうれしいこともあり
ました。それらすべてが、日本に留学したからこそできた重要な経験だと思いま
す。来学期は、今まで体験したことや身に付けた知識を活かして、楽しく時間を過
ごしながら、日本語の能力をもっと上達したいです。

